信夫第二小学校　学校便り

きらら

〈教育目標〉
「めあてを持ち，やりぬく子ども」の育成
○ よく考える子ども（学習：学力）
○ 思いやりのある子ども（生活：人間力）
○ 体をきたえる子ども（健康：体力）

№.22　令和4年1月27日（木）発行

乞うご期待！　子ども主体の”学校に感謝する会”

３学期がスタートして３週間。子どもたちの勢いがとまりません。学校便り№.１で、今年度の目標は、**「主体性や協働性の育成」**であることを明記しました。そして、信夫二小のプライドをもって、広い世界に羽ばたいてほしいと！**「自分から進んで」**がキーワードでした。３学期の子どもたちは、まさにこの**「自分から進んで」**ができるようになってきているのです。

実は、２月２６日（土）に行われる「学校に感謝する会」を、子どもたちが計画し、準備するようにしています。**自主的、実践的な態度**を育てる場としたのです。子ども自身がつくり出す難しさや苦しさを体験できるようにすることで、「先生に考えてもらった、やってもらったと思うのではなく、**自分たちの力**で作り上げたんだ」と言えるようにしたいと考えました。自分たちでやりきったという感動や自信を与えたいのです。素直で優しく、愛おしく、頬ずりしたくなるくらい、よい子揃いの信夫二小の子どもたち。この子達に、統合に向けての不安材料である**「主体性・積極性・自主性・表現力」**を鍛える場を！　それが今回の「学校に感謝する会」です。

５・６年生が実行委員となって、「全校こだま太鼓チーム」「全校合唱チーム」「全校呼びかけチーム」を組織し、発表内容を考え、練習に取り組んでいます。学校への感謝の気持ちを伝えるための会になるように、自分たちで**「積極的な行動」**を起こし始めてくれています。とっても頼もしい姿です。みんな生き生きとしています。この「学校に感謝する会」は、いわば全校生による学習発表会。今までの学びを総合的に発表する場となります。学習発表会ファイナルです。どうぞ、お楽しみになさってください。

本来でしたら、一人でも多くの方々に、子どもたちの輝く姿をみていただきたい！そう思うのですが、新型コロナウイルスの第６波の勢いが、日々増幅しております。最後の卒業式まで、３月も多くの学校行事があります。最後まで学校生活を送ることができるよう、「学校に感謝する会」は、参加者を限定する（一家族２名まで）など、規模を縮小して行わざるを得ません。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

～新型コロナウイルス感染拡大防止策にご協力を～

①一度風邪のような症状が出た場合、よくなったからとすぐに登校させないでください。**数日間は、登校を控えてください。**
②**不織布のマスクを隙間なく着用**させてください。サイズが合っていないと効果が下がります。